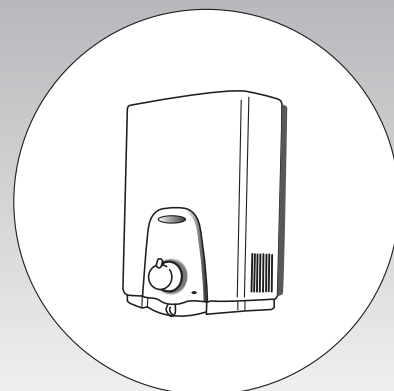


パロマガス湯沸器

型式名
PH-5RF
PH-5RF (9)
PH-5RF (10)
PH-5RF (19)

PH-5RF 取扱説明書



保証書付

もくじ

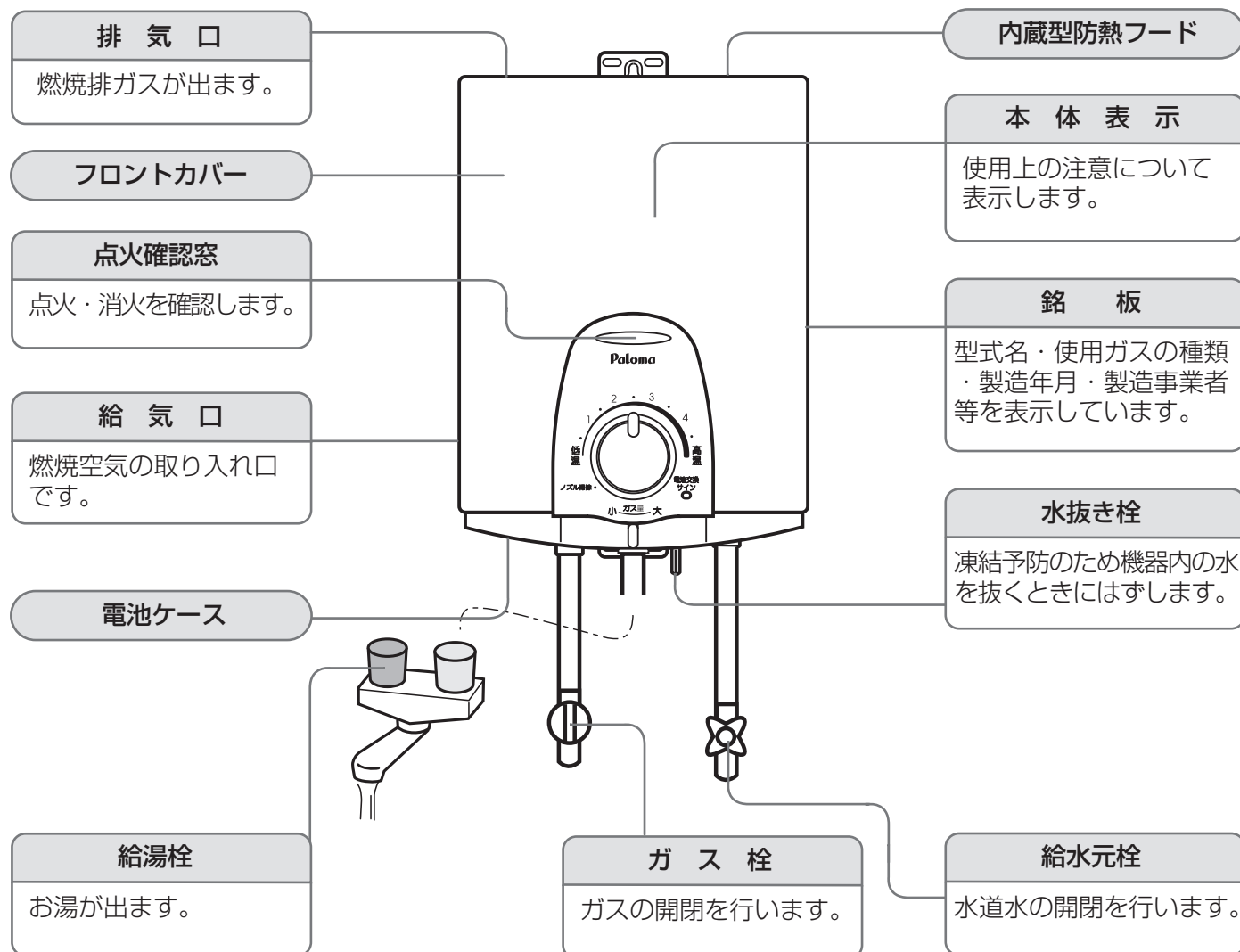
各部のなまえ	1
必ずお守りください	2
お使いになる前に	6
使いかた	7
湯温・ガス調節のしかた	8
故障かな?と思ったら	9
点検とお手入れ	10
凍結を防ぐには	11
設置工事説明編	13
開梱および部品の確認	14
外形寸法図	14
機器の取り付けと配管工事	15
設置工事後の点検	16
試運転	16
お客様への説明	16
仕 様	17
保管とアフターサービス	18
保証書	裏表紙

このたびはガス湯沸器をお買い上げ
いただきまして ありがとうございます。

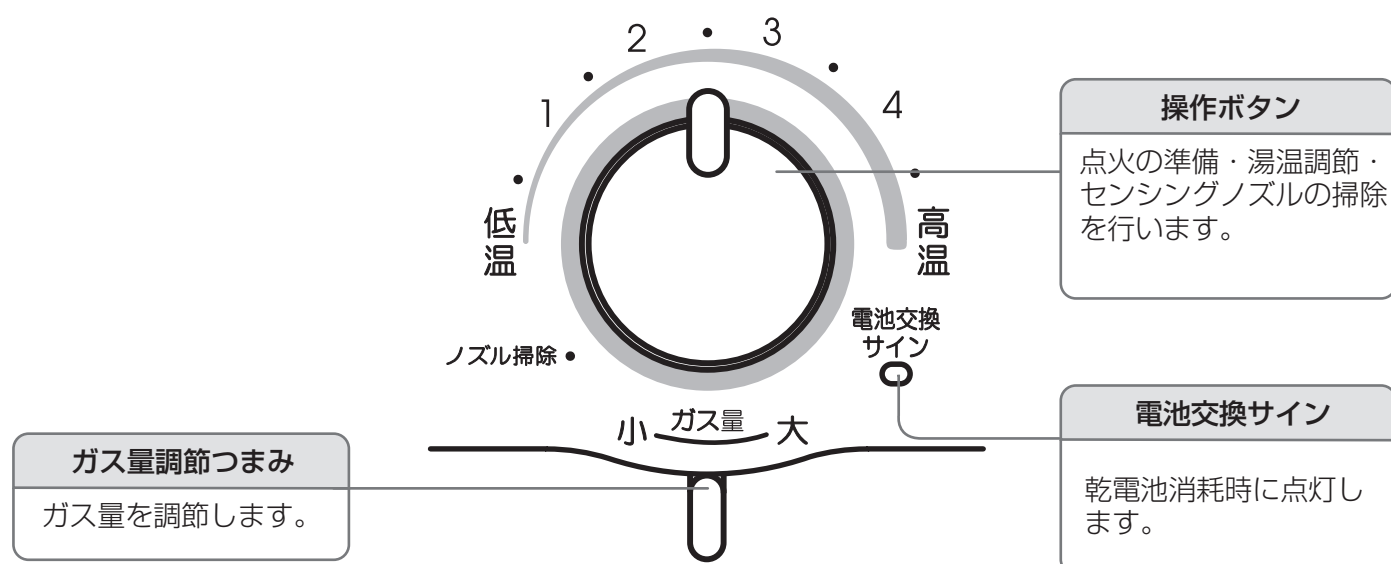
- 正しく安全にお使いいただくために、
ご使用前にこの「取扱説明書」を必ず
最初から順番にお読みいただき、よく
理解くださるようお願いいたします。
また、この「取扱説明書」をいつでも
すぐに取り出せるところに大切に保管
しておいてください。
- この「取扱説明書」に書かれている内
容以外ではご使用にならないでください。
- 「取扱説明書」を紛失された場合は、
お近くのパロマまでお問い合わせください。

Paloma

各部のなまえ



操作部



必ずお守りください

安全に正しくお使いいただくために

製品を正しくお使いいただくためや、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するためにこの取扱説明書および製品への表示では、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠ 危険

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う危険、または火災の危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。

⚠ 警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。

⚠ 注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性や物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示について次のような意味があります。



一般的な禁止



火気禁止



接触禁止



分解禁止



高温注意



必ず行う

⚠ 危険

ガス漏れ時使用厳禁

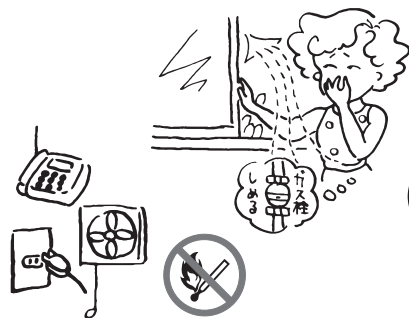
ガス漏れに気付いたときはガス事業者（供給業者）の処置が終わるまでの間、絶対に火をつけたり電気器具（換気扇その他）のスイッチの入・切や電源プラグの抜き差しおよび周辺の電話を使用しない

→炎や火花で引火し、爆発事故を起こすことがあります。

①すぐに使用をやめ、ガス栓を閉める。

②窓や戸を開け、ガスを外へ出す。

③お買い上げの販売店かお近くのガス事業者（供給業者）に連絡する。



⚠ 警告

換気注意

締め切った部屋で長時間使用しない
使用中は窓を開けるか換気扇を回す

*ただし、自然排気式の給湯器および風呂釜を使用している場合は換気扇を回さずに窓を開けて換気してください。

→不完全燃焼防止装置が働く原因になります。

*換気が十分でも消火する場合は、すぐに使用を中止し、ガス栓を閉め、お買い上げの販売店かお近くのパロマまで点検・修理を依頼してください。



給気口・排気口の定期点検

機器の給気口・排気口をふさがない

→ふさがっていると火災および不完全燃焼防止装置が働く原因になります。



必ずお守りください

警告

使用ガスについて

機器の銘板に表示してあるガス種(ガスグループ)の適合を確認する

→表示のガス種が一致しないと、爆発着火でやけどしたり、機器が故障したり、不完全燃焼防止装置が働く原因になります。特に転居した場合は必ずガスの種類が一致しているかどうか確認する

*わからない場合は
お買い上げの販売店かお近くのガス事業者(供給業者)に連絡する

ガス瞬間湯沸器 不完全燃焼防止装置付
型式名
ガスの種類 (ガスグループ)
ガス消費量
製造年・月・製造番号
製造事業者名



機器の設置(および付帯工事)

機器の設置・移動および付帯工事は、必ずお買い上げの販売店に依頼し安全な位置に正しく設置して使用する



ガス接続(ガス事故防止)

この機器はネジ接続です。接続は配管技能者が行う必要がありますのでお買い上げの販売店にご相談ください。



屋内式機器

この機器は屋内式ですので屋外に設置されていないことを確認する

→風により炎が機器の外にあふれて火災のおそれがあります。また雨水の浸入や炎が風にあおられて故障の原因になります。



火災予防

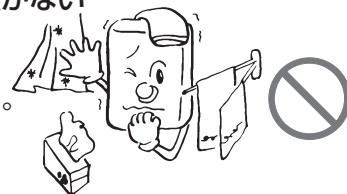
機器の周囲および排気口の上にタオル、ふきんなどを乗せない
→火災の原因になります。

機器の周囲ではスプレー、ガソリン、ベンジンなどの引火のおそれのあるものを使用しない

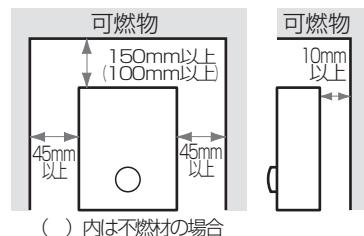
→引火して火災のおそれがあります。

機器の周囲や上にスプレー缶、カセットコンロ用ボンベなどを置かない

→熱でスプレー缶内の圧力が上がり爆発するおそれがあります。



火災予防条例により、機器周囲は可燃物から上方は150mm以上、側方は45mm以上、後方は10mm以上離して設置する
→火災の原因になります。



使用中の外出、就寝禁止

火を付けたまま就寝や外出は絶対にしない
→火災の原因になります。



やけどに注意

①使用中および使用直後は、操作部以外には手を触れない

→機器が高温になっているため、やけどのおそれがあります。(特に排気口に注意)

②高温のお湯の取り扱いには十分注意する

③使用後すぐにお湯をお使いになるときは最初熱いお湯が出ることがあるので十分注意する



⚠ 警告

異常時の処置

- ① 点火しない場合または使用中に異常な燃焼、臭気、異常音、異常な温度を感じた場合、使用中で消火する場合はただちに使用を中止しガス栓を閉じる
- ② 「故障かな?と思ったら」9ページに従い処置する
- ③ 使用中たびたび火が消える場合は、使用を中止し点検・修理をお買い上げの販売店かお近くのパロマに依頼する
- ④ 上記の処置をしても直らない場合は使用を中止しお買い上げの販売店かお近くのパロマに依頼する

地震、火災などの緊急の場合は迅速に使用を中止しガス栓を閉める



⚠ 注意

用途について

湯沸し以外の用途には使用しない
→ 思わぬ事故の原因になることがあります。
★ この機器は台所での洗い物等、少量のお湯をこまめにお使いになる場合に適しています。



薬品類に注意

機器と同室内で特殊薬品を使用したり、保管しない
→ 気化した特殊薬品（パーマ液、アンモニア、イオウ、塩素、エチレン化合物、酸類など）が機器内に入り、故障や不完全燃焼防止装置が働く原因になります。



断水したときは

使用できないので、給湯栓を閉め、操作ボタンを押して切の状態にする
→ もどさないと通水時、勝手に点火してしまいます。



フロントカバーをはずさない

フロントカバーは絶対にはずさない
→ はずしたまま使用すると、あふれた炎が可燃物に引火して火災になったり、安全装置が働かなくなるおそれがあります。



風に注意

機器に風があたる状態で使用しない

→ あふれた炎が可燃物に引火して火災になったり、不完全燃焼防止装置が働く原因になります。



分解禁止

修理技術者以外の人は絶対に分解したり修理・改造は行わない
→ 異常作動してけがの原因となります。



温泉水や井戸水・地下水の使用禁止

温泉水や井戸水・地下水を使わない
上水道を使用する
→ 水質によっては機器の破損および水漏れの原因となります。
* 温泉水や井戸水・地下水をお使いになって生じた故障についての修理・補修費用はお客様の負担となります。



機器の下での燃焼機器の使用禁止

燃焼排ガスの上昇する位置（こんろ・レンジ上方など）には設置しない
やむを得ず設置する場合は湯沸器に有効な防護措置をする
→ 不完全燃焼防止装置が作動し火がつかない場合があります。
また機器の寿命を縮めます。



必ずお守りください

おねがい

点火・消火の確認

使用時の点火、使用後の消火を確認してください。

設置場所に対する注意

網戸のある窓を開けて使用した場合、風の流れにより網戸を破損することがあります。網戸の位置に注意が必要です。

飲用にお使いのときは

朝一番などのように長時間使わなかった後、お使い始めのまだぬるいお湯（洗面器一杯程度）は念のため雑用水としてお使いいただき、その後飲用水としてお使いください。

補修用性能部品および補助具について

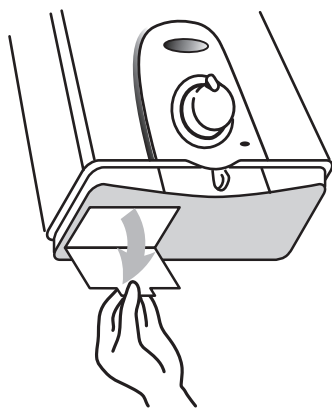
補修用性能部品および補助具は当社の純正部品以外は使わないでください。当社の純正部品以外のものを使用した場合の機器の故障、事故については、当社では責任を負いかねます。

スプレー類について

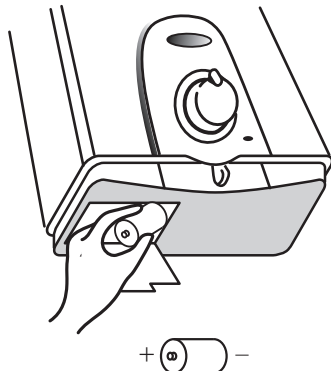
機器と同室内でシリコンを含むスプレー（ヘアスプレー、静電気防止スプレーなど）を使用しないでください。電気部品の故障の原因になります。

お使いになる前に

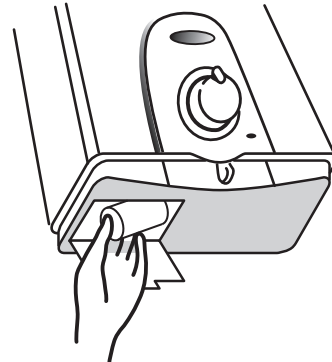
1 乾電池を取り付ける（単1形1.5V 2個）



①機器底面にある電池ケースのフタを開けます。



②乾電池を＋側を左にして、電池ケース右奥に入れます。



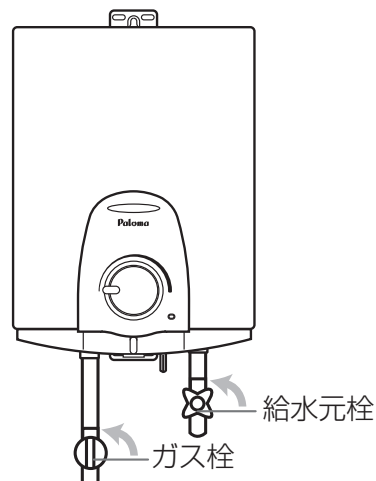
③最初に入れた乾電池を右奥に押しながら、2個目の乾電池を＋側を左にして入れます。
④ケースのフタを閉めて完了です。

おねがい

乾電池の＋と－を逆にして入れると作動しません。

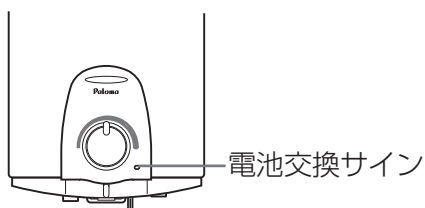
2 給水元栓を全開にする

3 ガス栓を全開にする



乾電池が消耗したとき

電池交換サインが点灯したら、乾電池の交換の時期です



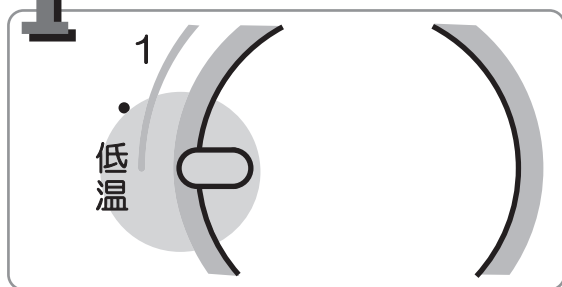
乾電池の寿命は通常の使いかたで約1年です。

おねがい

- 2個とも新しい乾電池を使用し、古いものや違う種類のを混ぜて使用しないでください。寿命が短くなったり、乾電池が液漏れすることがあります。
- 付属の乾電池は工場出荷時に納められたもので、自己放電のため寿命が短くなっている場合があります。

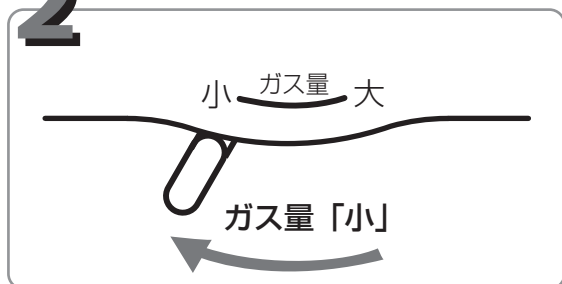
使いかた

1



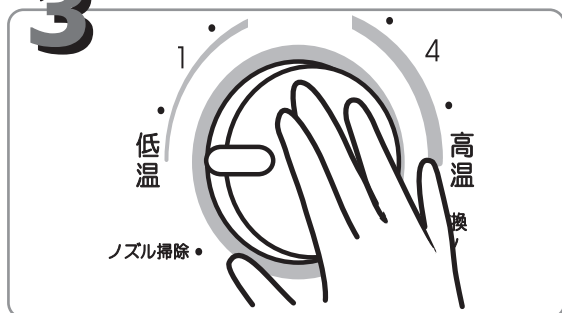
操作ボタンが「低温」の位置にあることを確認する

2



ガス量調節つまみが「小」の位置にあることを確認する

3

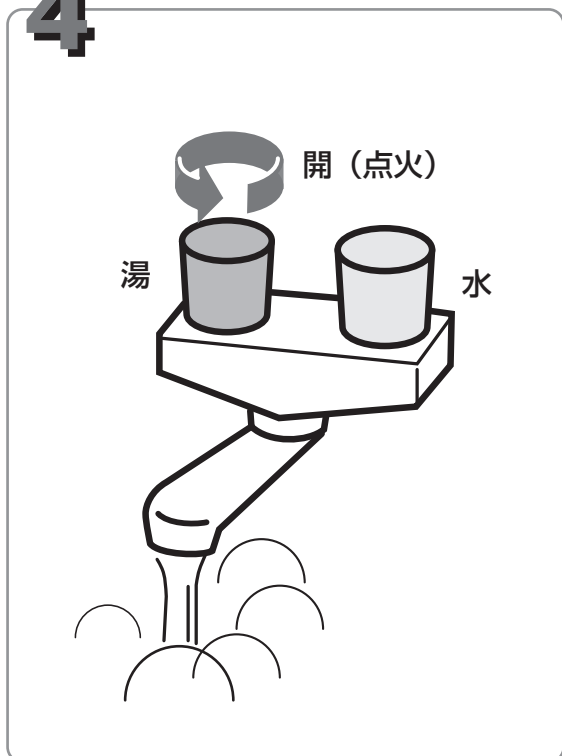


操作ボタンの中央を止まるまでいっぱい押し、静かに手を離す

⚠ 注意

給湯栓から水を流しながら操作しない
→ 点火しないことがあります。

4



給湯栓を開ける

- パチパチ…と音がして点火し、お湯が出ます。
- 点火していることを点火確認窓より確認してください。
- 次ページを参考にして、お好みの湯温に調節してください。

⚠ 注意

お湯を止めた後すぐに使用するとき、出始めのお湯に触れない
→ 熱いお湯が出ることもあり、やけどのおそれがあります。

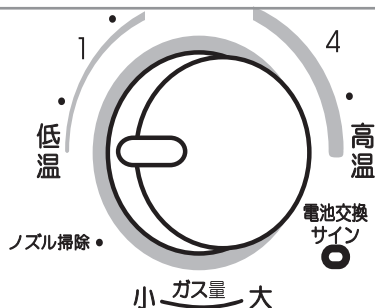
給湯栓を開けても点火しないときは、いったん給湯栓を閉めて消火の状態にし、しばらく（10～20秒程度）待ってから再度給湯栓を開ける（朝一番など時間を長くおいてご使用になるときは、1回の操作で点火しなかったり、すぐに消火することがあります）

→ 時間を置かず、再度給湯栓を開くと、爆発点火の原因になります。

給湯栓を閉める

- 消火してお湯が止まります。
- 消火したことを点火確認窓より確認してください。

5

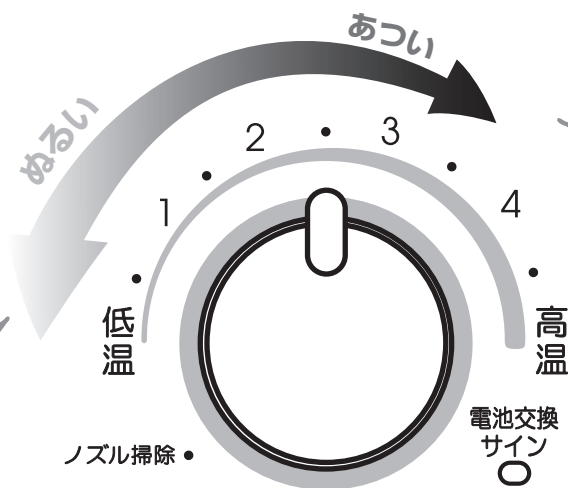


使用後は操作ボタンの中央を止まるまでいっぱい押し、静かに手を離す
必ず操作ボタンを「低温」、ガス量調節つまみを「小」にもどす

注意

→もどさないと次にご使用のとき、思わぬ高温のお湯が出てやけどのおそれがあります。

湯温の調節のしかた



ぬるくするときは
左へ回します

●湯量が多くなります。

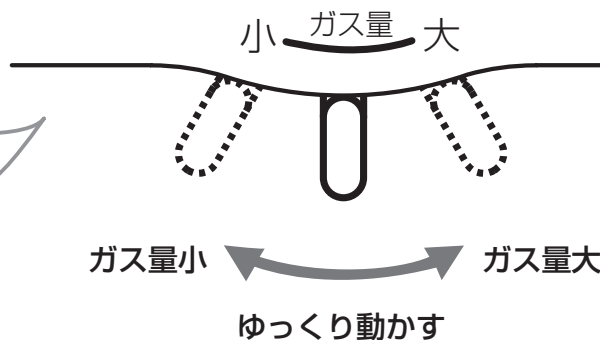
あつくするときは
右へ回します

●湯量が少なくなります。

ガス量の調節のしかた

湯温調節をした後、さらにガス量を調節することできめ細やかな温度に対応できます。

操作ボタンが「低温」の位置にあってもまだ熱いとき（水温の高い夏期など）はガス量を「小」にすればぬるくなります。
ガス代の節約にもなります。



●冬季など水温の低いときはガス量を「大」にすればあつくなります。

●お湯が多めに必要なときや、高温にするときはガス量を「大」にします。

故障かな？と思ったら

故障かな？と思ったら、次のことをお調べください。下記の現象に当てはまらないとき、また処置をしてもなお異常があるときは、お買い上げの販売店かお近くのパロマまでご連絡ください。

現 象		原 因	処 置 方 法	参照ページ
点 火 し な い	水は出ている	ガス栓が閉めてある	ガス栓を全開にする	6
		ガス栓の開き不十分	ガス栓を全開にする	6
		給水元栓の開き不十分	給水元栓を全開にする	6
		点火操作が不適切	「使いかた」に従う	7/8
		給湯栓をしぼりすぎている	給湯栓をもっと開く	7
		ガス配管に空気が残っている	点火操作を繰り返す	7
		センシングノズルの詰まり	お手入れをする	10
		水抜き栓を確実に締め込んでいない	確実に締め込む	12
		LPガス使用の場合、LPガスがなくなりかけている	ボンベを交換する	-
	水も出ない	給水元栓が閉めてある	給水元栓を全開にする	6
点火操作が不適切		「使いかた」に従う	7/8	
断水している		使用をいったん中止する	4	
凍結している		解凍するまで使用を中止する	-	
使用 中 に 消 火 す る	水は出ている	ガス栓の開き不十分	ガス栓を全開にする	6
		給水元栓の開き不十分	給水元栓を全開にする	6
		給湯栓をしぼりすぎている	給湯栓をもっと開く	7
		ガス配管内に空気が残っている	点火操作を繰り返す	7
		センシングノズルの詰まり	お手入れをする	10
		安全装置が作動している	下記参照	9
	水も止まる	LPガス使用の場合、LPガスがなくなりかけている	ボンベを交換する	-
		断水している	使用をいったん中止する	4
黄色の炎で燃える		LPガス使用の場合、LPガスがなくなりかけている	ボンベを交換する	-
高温のお湯が出ない	ガス栓の開き不十分	ガス栓を全開にする	6	
	湯温調節が不適切	「使いかた」に従う	7/8	
	水抜き栓を確実に締め込んでいない	確実に締め込む	12	
	LPガス使用の場合、LPガスがなくなりかけている	ボンベを交換する	-	
	低温のお湯が出ない	給水元栓の開き不十分	給水元栓を全開にする	6
湯温調節が不適切		「使いかた」に従う	7/8	
高温では点火する が低温ではしない	給水元栓の開き不十分	給水元栓を全開にする	6	
	水抜き栓を確実に締め込んでいない	確実に締め込む	12	
電池交換サインが点灯		乾電池が消耗している	新しい乾電池と交換する	6/10
水抜き栓からときどき 水滴が落ちる		機器内に高い圧力が生じた場合、安全弁の動きにより水抜き栓からときどき水が落ちることがありますが水漏れではありません。（床が濡れて困るときは、ビニールホース等で支障のない所へ排出してください。）		
出湯停止後「チリチリ」 という音がする		熱による膨張・収縮による音で異常ではありません。		

安全装置の種類

立消え安全装置 … 炎が風などで消えると、自動的にガスを止めます。

不完全燃焼防止装置 … 機器が不完全燃焼するような状態（お部屋の換気不足や熱交換器の目詰まり）になる前にガスを止めます。

過熱防止装置 … 使用中機器内の温度が異常に高くなると、自動的にガスを止めます。

過圧防止安全装置 … 機器の中に異常圧がかかったときに、機器破損を防ぎます。

安全装置が作動した（途中消火に気付いた）ときは、次の処置をしてください

- ①すぐに給湯栓を閉め、操作ボタンを押して切りの状態にしてください。
- ②窓や戸を開けて換気をしてください。
- ③しばらく（約1分）待ってから、再度操作ボタンを押し、給湯栓を開けてください。
- ④点火しなかったり、途中消火が繰り返し起こるときは、お買い上げの販売店かお近くのパロマまでご相談ください。

点検とお手入れ

- 日常の点検・お手入れは必ず行ってください。
- 故障または破損したと思われる場合は使用しないで、お買い上げの販売店かお近くのパロマまで点検・修理を依頼してください。
- お手入れの際には必ずガス栓を閉め、機器が冷えてから行ってください。
- お手入れの際、指先には十分注意してください。

点検のポイント

ご使用のたびに

1. 給気口・排気口を異物やほこりでふさいでいませんか？
2. 機器のまわりに燃えやすいものはありませんか？
3. 運転中に異常音は聞こえませんか？
4. 機器配管からガス漏れ・水漏れはありませんか？
5. 外観に変色等の異常はありませんか？
6. 乾電池は消耗していませんか？

点火操作のとき電池交換サインが点灯する場合は、乾電池が消耗していますので取り替えてください。
(6ページ参照)

月に2～3回

1. 湯温調節を長い間同じ位置にしていますか？

湯温調節は水垢等により動かしにくくなることがありますので、月に2～3回程度湯温調節の範囲内で操作ボタンを回してください。

2. センシングバーナのノズルが汚れていませんか？

長期間使用すると点火しにくくなったり、使用中に消火することがあります。(下記参照)

お手入れのしかた

水気をしぼったやわらかい布に台所用中性洗剤を含ませて汚れを落とし、乾いた布で水気を十分ふき取る
(月に1回程度)

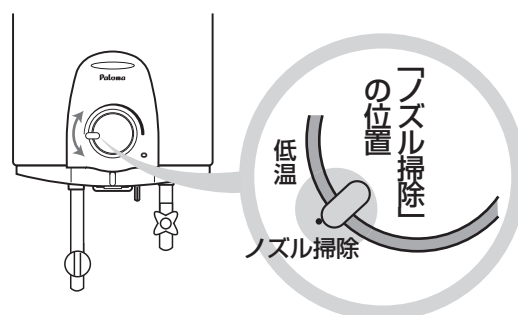
おねがい

シンナー、ベンジンや酸性・アルカリ性洗剤は使わないでください。
機器損傷の原因になります。印刷・塗装面にはみがき粉、たわしなど固いものは使わないでください。表面を傷付けます。

センシングバーナのノズル掃除

点火しにくくなったり、使用中に消火する
ような場合は掃除する(月に2～3回)

- ① ガス栓、給水元栓を閉めます。
- ② 操作ボタンを切りの状態にし、左に止まる位置まで回し切る操作を数回行います。
- ③ 操作後は「低温」にもどし、ガス栓、給水元栓を開け点火操作し、正常に燃焼することを確認してください。



定期点検のおすすめ

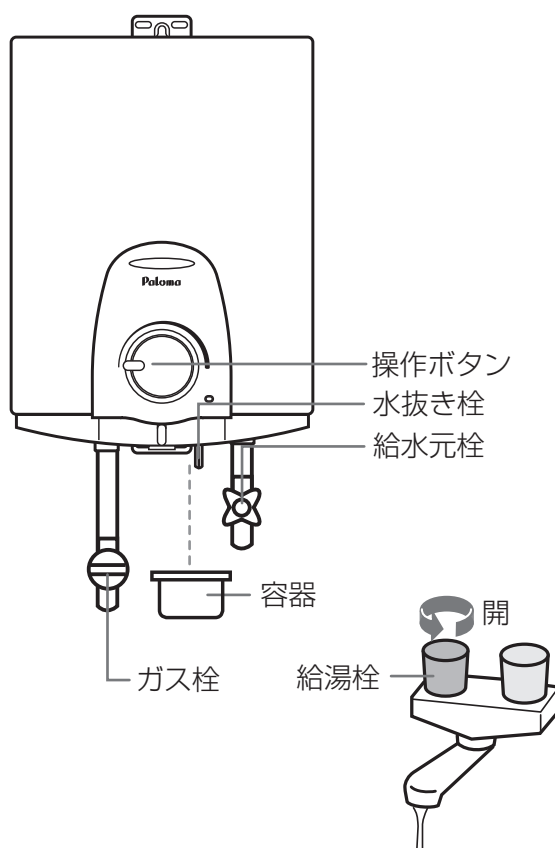
より長く安全にお使いいただくために、2年に1度程度(使用頻度の高い場合は1年に2回程度)の定期点検を受けられることをおすすめします。お買い上げの販売店かお近くのパロマまでご相談のうえ、お申しつけください。(有償)

凍結を防ぐには

冬期には機器や配管内の水が凍結し、機器を破損することがあります。おやすみ前や、また日中でも凍結のおそれのある厳寒期には、機器の使用直後に必ず水を抜いてください。水抜きせずに凍結して機器や配管を損傷させたり、凍結による水漏れにより床・壁等を汚した場合の修理・補修費用はお客様の負担になります。



水の抜きかた



1. 操作ボタンを押して切りの状態にします。
2. ガス栓を閉めます。
3. 給水元栓を閉めます。
(寒冷地域などで不凍栓使用時は、不凍栓を閉じ、給水元栓を全開にします)
4. 操作ボタンを「低温」にします。
(水抜きできずに凍結する場合がありますので、確実に操作します。)
5. 給湯栓を開けます。
6. 水抜き栓より水が流れますので、容器を用意します。
7. 水抜き栓を左に回してはずし、水を抜きます。

出水を確認し、再度使用するまでそのままにしておきます。

- 給水配管も凍るおそれのあるときは、不凍栓などで配管内の水を抜いてください。
- 給水配管の凍結予防は、水道事業者へ依頼してください。

水抜き後の使いかた

1. 操作ボタンが切りの状態を確認します。
2. 水抜き栓を締め込みます。

おねがい

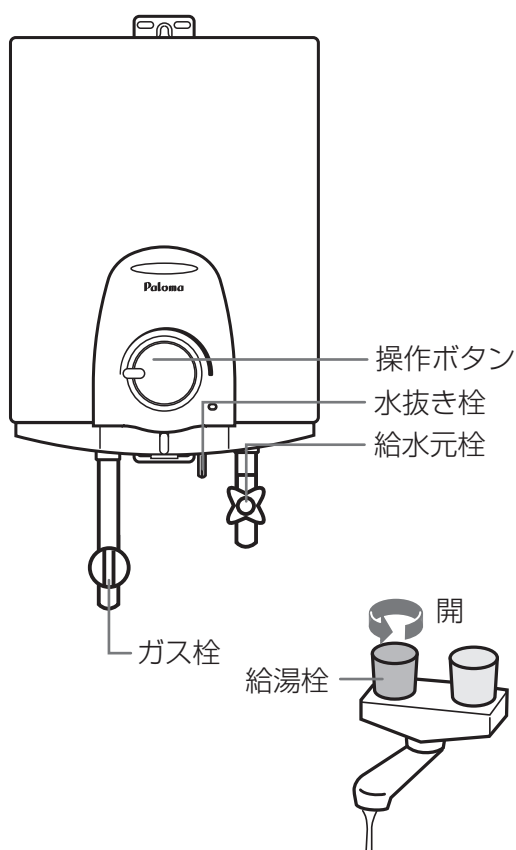
水抜き栓は確実に締め込んでください。
締め込み不足の場合、水漏れしたり、
高温のお湯が出ないことがあります。

3. 操作ボタンを「高温」にします。
4. 給水元栓を開けます。
5. 給湯栓を開けて水が出ることを確認した後、閉めます。

おねがい

操作ボタンが通常の動きより重くなって
いたり動かない場合、または「高温」で
通水しない場合は、凍結していますので
解凍するまで使用しないでください。

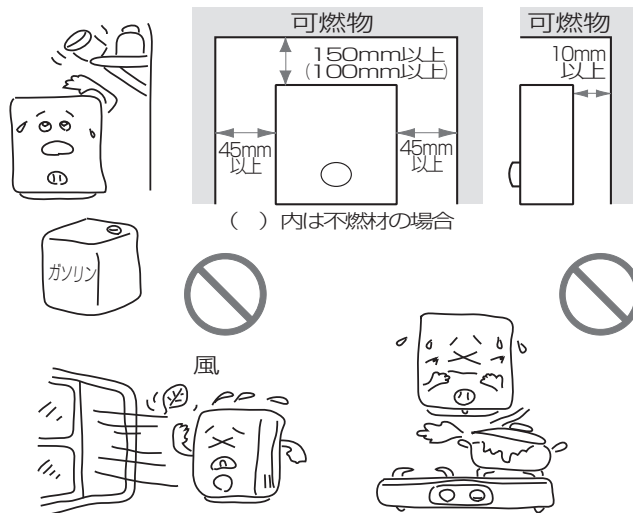
6. 操作ボタンを「低温」にもどします。
7. ガス栓を開けて使用します。



設置工事説明編 (工事をされる方へ)

警告

- この機器を安全に正しく設置していただくために、以下の内容をご理解いただいてから工事を行ってください。
- 必ず、銘板に表示されたガス種を使用してください。ガス種が異なると、火災や機器の破損の原因となることがあります。
- ガス配管工事のうちLPガス配管は「液化石油ガスの保安の確保および取り引きの適正化に関する法律」に従い、液化石油ガス設備士が、都市ガス配管はガス事業法に従い、指定工事店が行ってください。
- ガソリン、ベンジン、接着剤、スプレーなどの引火性危険物を扱う場所には設置しない。引火して火災になることがあります。
- 換気（給気、排気）が得られる所に設置する。浴室内へは絶対に設置しない。換気が不足して不完全燃焼防止装置が働くことがあります。
- 火災予防条例により、機器周囲は可燃物から上方は150mm以上、側方は45mm以上、後方は10mm以上離して設置する。これ以下ですと火災になることがあります。
- 棚の下など落下物が有り得るところには設置しない。火災の原因となります。
- 冷暖房機の冷・温風が直接当たる場所や、風が吹き込むところへは設置しない。風によりあふれた炎や熱から火災になったり、網戸を破損することがあります。また、不完全燃焼防止装置が働く原因にもなります。



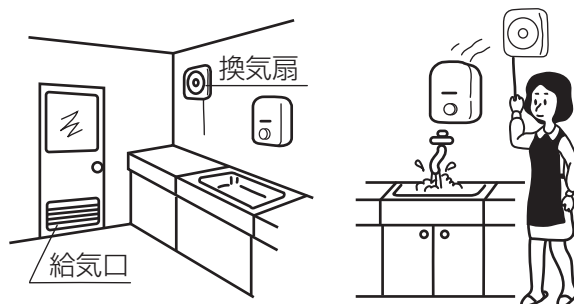
注意

- 工事内容に応じた安全策（安全靴、安全帽、手袋の着用等）を講じて作業を行ってください。
- 給水配管工事は給水条例に従い、水道事業者の指定工事店が行ってください。また、配管材料は水道局の承認品か検査合格品を使用してください。守りませんと飲用に適さなかったり、水漏れすることがあります。
- 機器上方が150mm以上離れていても、400mm以内の上面、後面が塗装面、ビニールクロス、一部が樹脂製の吊り戸棚、薄いベニヤ等の場合は排気熱により変形、変色することがあります。石膏ボード等で有効な防護を行ってください。
- 換気（給気、排気）が十分得られるところに設置するか給気口と換気扇を設けてください。
①換気扇の大きさは同時に使用される機器の合計ガス消費量1.16kW当り43.2m³/h以上が必要です。換気扇の大きさは下表を参考にしてください。

換気扇の羽根径(cm)	機器合計ガス消費量 kW
15	12.2以下
20	16.3以下
25	24.4以下

- ②本機器はできるだけ換気扇連動スイッチ（別売）と接続してご使用ください。
- ③給気口の大きさは、有効面積でガス消費量1.16kWあたり10cm²以上が必要です。本機器のみの場合は100cm²以上です。

- 特殊薬品（パーマ液、アンモニア、イオウ、塩素、エチレン化合物、酸類等）を扱う場所には設置しないでください。機器が破損することがあります。
- この機器は屋内用です。屋外には設置しないでください。雨、風、雪や凍結により機器が破損します。
- 機器の周囲には、火災予防上のスペースの他、メンテナンス用として前方600mm以上、側方200mm以上離してください。
- 燃焼排ガスの上昇する位置（こんろ・レンジ上方など）には設置しないでください。やむを得ず設置する場合は湯沸器に有効な防護措置をしてください。不完全燃焼防止装置が作動し火がつかない場合があります。また機器の寿命を縮めます。

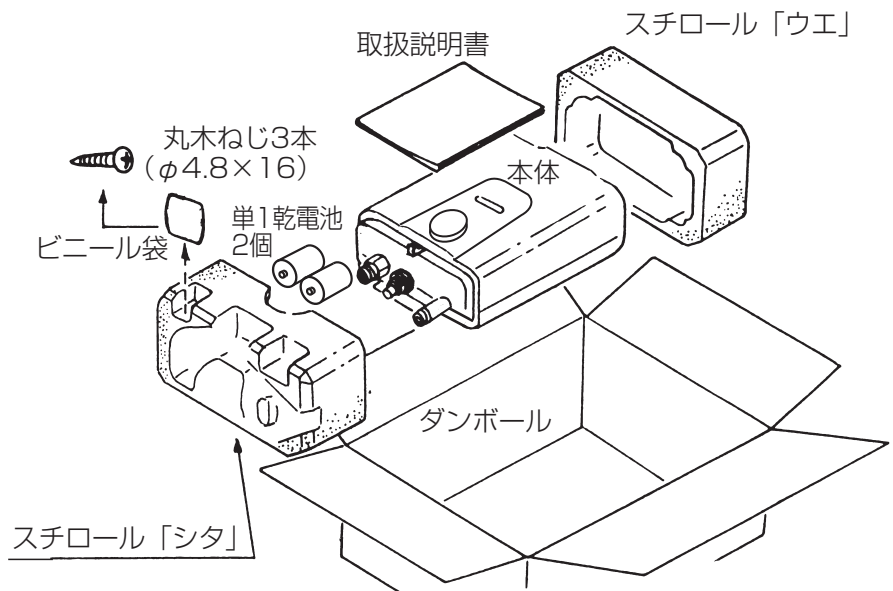


1.開梱および部品の確認

本機器の梱包には以下の位置に部品が納めてありますのでご確認ください。

残水注意

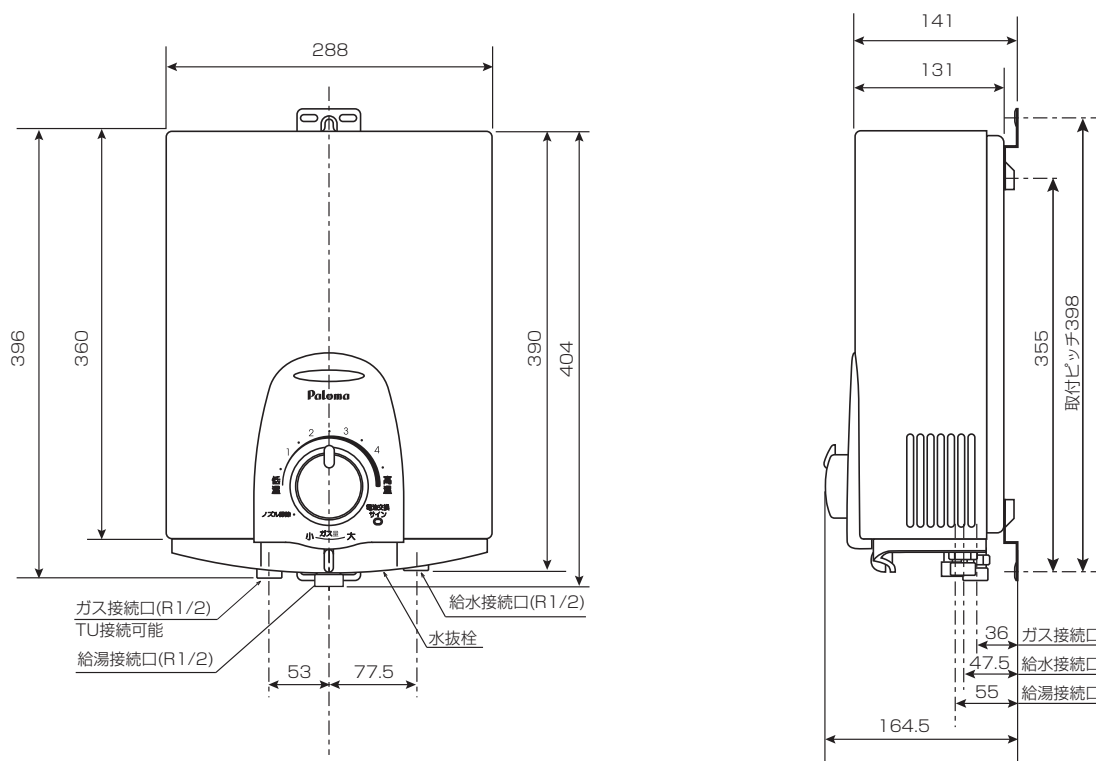
機器を梱包から取り出すときおよび機器を取り付けるときに、給水・給湯接続口より残水が出る場合がありますので、ご注意ください。残水は工場出荷検査時に使用した水で、異常ではありません。



別売部品のご案内

- 湯沸器取付金具 ———— 取り付け面が窓になるときにご利用ください。
- 換気扇連動スイッチ（+機器本体の検出部組立） ———— ご使用時に自動的に換気扇を回します。
- 遮熱板（防熱板） ———— * 詳細はお求めの販売店までおたずねください。

2.外形寸法図



設置工事説明編(工事をされる方へ)

3.機器の取り付けと配管工事

機器の取り付け

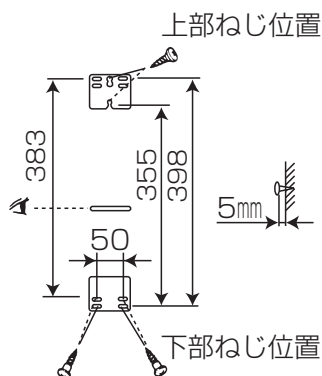
●取り付けの高さ

点火確認窓の高さがおおよそ目の高さくらいの位置が一番便利です。

●機器の設置

機器の重さは4.9kgです。

- ①上部ねじ位置に丸木ねじをはめ込み、設置面（壁柱等）に右のように約5mm空けて設置する。
- ②ブラケット上部中央の孔を①の丸木ねじに引っ掛け、奥まではめ込み、①の丸木ねじを締め付け後、下部2箇所を丸木ねじにて固定してください。



部品の取付け

●乾電池の取付け

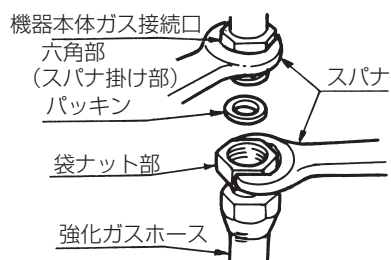
電池ケースは機器下面左側にあります。乾電池を梱包より本書の6ページの「乾電池を取付ける」項に従い、電池ケースに入れてください。

＊付属の乾電池は工場出荷時に納めていますので、自己放電により寿命が短くなっている場合があります。

ガス接続工事

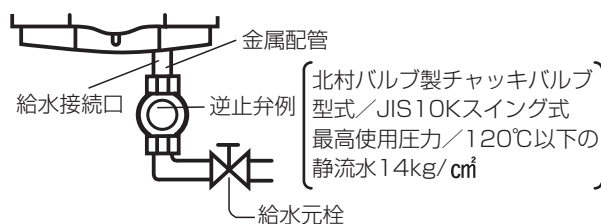
※配管の接続口は3ヶ所（左からガス、給湯、給水）あり、間違えないよう接続してください。特に給湯、給水接続口には、絶対にガス管を接続しないでください。

- ガス接続径はR1/2（TU）です。
- ガス接続元には必ずガス栓を取り付けてください。保守点検に必要です。
- ねじ接続する場合は、本体の六角部にもスパナを掛け、本体に無理な力加わらないよう締め付けてください。
- 強化ガスホースで接続する場合
 - ①強化ガスホースの曲げ半径は90mm以上としてください。
 - ②袋ナットを締め付けるとき、強化ガスホースがねじれないようにしてください。



給水配管工事

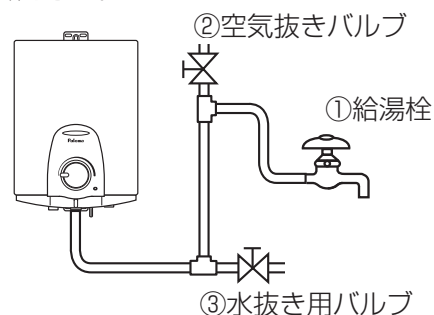
- 給水接続径はR1/2（15A）です。
- 給水元栓を取り付けてください。保守点検に必要です。
- 供給水圧は60.0kPa（0.6kg/cm²）以上としてください。これ以下ですと満足に使用できません。
- 機器と給水管を接続する前に必ず水を流し、配管内のシール剤、ゴミ、砂などを流し出してから接続してください。



- 給水接続部には逆止機能を持った給水元栓か、給水元栓の下流に耐熱性（耐熱温度120℃対応）のある逆止弁を取り付けて、機器接続部から給水元栓の間は金属配管としてください。

給湯配管工事

- 給湯接続径はR1/2（15A）です。
- ①給湯栓は泡沫栓や湯屋カラン（プッシュ式）はなるべく避けてください。不着火や異常音の原因になります。
- ※混合水栓を取り付けるときは、機器に適した通水抵抗が少なく、湯と水の調節が安易なものを取り付けてください。



- ②給湯配管を機器より高くする場合は、最高部に空気抜きバルブを取り付けてください。
- ③給湯栓が高い位置にある場合は給湯配管の最下部に水抜き用バルブを取り付けてください。
- ※機器下面には、水抜き栓兼安全弁が組み込まれています。機器内に異常圧が加わったときには先端から水滴が落ちることがありますが、故障ではありません。ビニールホース等で支障のない所へ排出してください。

4.設置工事後の点検

● チェックリスト

点検項目	点 検 内 容	参照ページ	チェック
機器の適合	銘板（ガス種）は使用ガス種に適合していますか。	3、13	
機器およびその周辺	可燃物との離隔距離および防火措置は十分ですか。	13	
	日常の使用および点検に支障はありませんか。	10	
	同梱部品等の取り付け状態は正しく行いましたか。	14、15	
	機器の設置場所は適切ですか。	13	
	機器は堅固に取り付けられていますか。	15	
換気設備	換気扇は取り付けられていますか。	13	
	十分な給気ができる設備がありますか。	13	
給水接続	給水圧は十分ありますか。	15	
	適切な材料が使用されていますか。	13	
	接続部の水漏れはありませんか。	15	
	給水元栓は取り付けられていますか。	15	
ガス接続	ガス接続は正しく施工されていますか。	15	
	ガス漏れはありませんか。	15	
	ガス栓は取り付けられていますか。	15	

5.試運転

- 4の「設置工事後の点検」に異常がなければ試運転を行います。本書の7ページ～8ページの「使いかた」に従い、正常に作動することを確認してください。
- 試運転が終わりましたら、お客様がすぐに使用される場合を除き、ガス栓を止め、本書の11ページに従い、水を抜いておいてください。水を抜きまないと、冬期には凍結し、機器が破損することがあります。

6.お客様への説明

- ご使用方法を本書に従いお客様へ説明してください。また、本書をお客様ご自身が必ずお読みになり、ご理解したうえで、ご使用になるよう説明してください。
- 本書の裏表紙の保証書に関する事項をお客様に説明してください。
- 本書は必ずお客様へお渡しください。また、すぐに取り出せるところに大切に保管するよう説明してください。引っ越しなどで機器を移動する際にも必要になります。

仕 様

品名		PH-5RF	重量（本体）	4.9kg
型式名		下記参照	接続	ガス R1/2 (TU) ねじ 給水・給湯 R1/2 (15A)
種類	給湯方式	先止め式	安全装置	
	給排気方式	開放式		
点火方式		連続スパーク点火	立消え安全装置・過熱防止装置 ・不完全燃焼防止装置・過圧防止安全装置	
適正使用水压		60.0~1000kPa (0.6~10.0kg/cm ²)		
最低作動水压	低温	30.0kPa (0.3kg/cm ²)	標準付属部品	
	高温	25.0kPa (0.25kg/cm ²)		
外形寸法		高さ360×幅288×奥行141mm	丸木ねじ (3) 単1乾電池 (2) 取扱説明書 (1)	

使用ガス・ガスグループ			型式名	ガス消費量 kW (kcal/h)	出湯量 (最大) ℓ /分 { (水压100kPa)(1kg/cm ²) }	
					25℃上昇	40℃上昇
都市ガス用	12A		PH-5RF	10.5(9000)	4.7	2.9
	13A		PH-5RF	11.2(9600)	5.0	3.1
	L 1 (6B,6C,7C用)	6C標準	PH-5RF(9) PH-5RF(19)	11.0(9500)	4.9	3.0
		6B7C標準	PH-5RF PH-5RF(10)	10.8(9300)	4.8	3.0
	L 2 (5A,5AN,5B用)		PH-5RF PH-5RF(10)	11.0(9500)	5.0	3.1
	L 3 (4A,4B,4C用)	4A標準	PH-5RF	10.6(9100)	4.7	2.9
		4B4C標準	PH-5RF(9)	10.6(9100)	4.7	2.9
	L 3 (4A,4B,4C用)		PH-5RF(10)	10.6(9100)	4.7	2.9
	6A		PH-5RF	11.2(9600)	5.1	3.1
	5C		PH-5RF	10.6(9100)	4.7	2.9
LPガス用			PH-5RF	11.2(0.8kg/h)	5.1	3.1

◎本仕様は改良のためお知らせせずに変更することもあります。

保管とアフターサービス

保管（長期間使わないとき）

- ①水抜きします。（「凍結を防ぐには」11ページ参照）
- ②乾電池を取り出します。

アフターサービスについて

点検・修理を 依頼されるとき

9ページ「故障かな?と思ったら」を見てもう一度確認し、それでも直らないときは、お買い上げの販売店かお近くのパロマまでご連絡ください。

☆アフターサービスをお申しつけのときはお知らせください。

- ご住所・ご氏名・電話番号
- 現象(できるだけ詳しく)
- 品名・型式名(銘板表示のもの)
- ご購入日・ガス種
- 道順・目標

補修用性能部品の 最低保有期間について

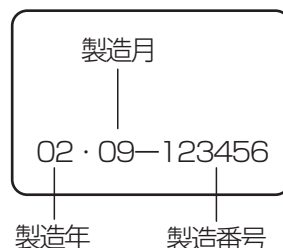
補修用性能部品は製造打ち切り後最低6年間保有しております。
長年のご使用でいたんだ場合にはお買い求めください。

ガスの種類が変わるとき

ご贈答、転居等によりガスの種類が変わるときは、お買い上げの販売店かお近くのパロマまでご連絡ください。
この場合、費用は保証期間中でも有料となります。

製造年月について

製造年月は本体貼付けの銘板でお確かめください。



その他ご不明の点は

お買い上げの販売店かお近くのパロマまでご連絡ください。別添えの「お客様ご相談窓口」をご参照ください。

保証書

品 名	PH-5RF	ガス湯沸器
-----	--------	-------

このたびは当社製品をお買い上げいただきましてありがとうございます。この保証書はお客様の正常な設置・使用状態において万一機器本体が故障した場合には、本書の記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。

《 無料修理規定 》

1. 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書きに従った正常な設置・使用状態で故障した場合には、お買い上げの販売店かお近くのパロマが無料修理致します。
2. 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合は、お買い上げの販売店かお近くのパロマにご依頼のうえ、本書をご提示ください。なお、離島および離島に準ずる遠隔地への出張修理を行った場合には出張に要する実費を申し受けます。
3. ご転居の場合は事前にお買い上げの販売店にご相談ください。
4. ご贈答品等で本保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理をご依頼できない場合には、お近くのパロマへご相談ください。

5. 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
 - (イ) 取扱説明書によらないでご使用になったり使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷
 - (ロ) お買い上げ後の取付場所の移動（取付工事依頼の必要な機器の場合）、落下等による故障および損傷
 - (ハ) 公害、火災、水害、地震、落雷、凍結等の天災地変、異常電圧（電気部品搭載の機器の場合）、供給事情（燃料・給水等）などによる故障および損傷
 - (ニ) 一般家庭用以外（例えば、業務用使用、車輛、船舶への搭載等）に使用された場合の故障および損傷
 - (ホ) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入捺印のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合
 - (ヘ) 消耗部品の取替えおよび保守等の費用
 - (ト) 本書の提示がない場合
6. 本書は日本国内においてのみ有効です。
(This warranty is valid only in Japan.)
7. 本書は再発行致しませんので、紛失しないように大切に保管してください。

お客様	お名前 様	保証期間	お買い上げ 年 月 日から1年
	ご住所 〒	販売店名	店名
	お電話		住所 電話番号

株式会社 **パロマ**〒467-8585 名古屋市瑞穂区桃園町6番23号
TEL 052 (824) 5145

修理記録

年 月 日	修理内容	印

*この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理等についてご不明の場合は、お買い上げの販売店かお近くのパロマにお問い合わせください。

*保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間について詳しくはアフターサービス欄をご覧ください。